

平成 29 年 9 月 13 日
環境再生・資源循環局
災害廃棄物対策室

災害廃棄物対策に関するシンポジウムの開催について（案）

1. タイトル

同時多発化する自然災害に備えた災害廃棄物対策のあり方とは

2. 目的

近年、地球温暖化による気候変動の影響などで我が国の台風・豪雨災害等の自然災害が激化している。今年も 6 月から 7 月にかけて、福岡県や秋田県などにおいて甚大な被害が発生した。災害時においても公衆衛生の悪化を軽減させ、生活環境を保全するとともに、速やかな復旧・復興を実現するためには、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理が必要となる。本シンポジウムは平成 28 年熊本地震等の実例を検討しながら、国、自治体、民間事業者のそれぞれの役割を再認識し、密に連携した体制を構築していくことを目的とし開催する。

3. 実施日時・場所

平成 29 年 12 月 14 日（木）13 時～16 時（12 時開場）
砂防会館

4. 対象

自治体、民間事業者、研究者等（200 名程度）

5. プログラム

開会挨拶 環境省（5 分）

講演 1 災害廃棄物対策の現状と課題（国立環境研究所）（30 分）

講演 2 平成 28 年熊本地震における災害廃棄物処理に係る支援の概要（熊本県）（20 分）

講演 3 地方環境事務所の取組（関東地方環境事務所）（20 分）

講演 4 自然災害におけるメディアの役割（地方紙連合会）（20 分）

休憩（10 分）

講演 5 モデル事業の実施例①（15 分）

講演 6 モデル事業の実施例②（15 分）

講演 7 災害廃棄物対策に係る民間の取組事例①（15 分）

講演 8 災害廃棄物対策の今後のあり方（環境省災害廃棄物対策室）（20 分）

質疑（5 分）

閉会挨拶 環境省（5 分）

以上